



みさき

62号



議会HPへアクセスします

美咲町議会だより

2020年11月10日発行



主な内容

令和元年度決算審査 ②～⑤

こんなことが決まりました ⑥～⑦

10議員が町政を問う ⑫～⑳

義務教育学校先進地に学ぶ ㉑

大きく育て美咲の子ども ふるさとの空に^{こえ}歓声ひびかせて

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

表紙関連記事23ページ



4日間にわたり決算認定特別委員会を開催し、令和元年度決算について各委員からの意見を集約。

各委員が決算や事業内容をチェック



決算審査において、各委員から出された指摘事項60項目をまとめた報告書を松田委員長、左居副委員長から松島議長へ提出。

決算認定特別委員会の報告書を松島議長へ提出



決算認定特別委員会からの報告書を基にまとめた議会からの要望書を松島議長、金谷副議長から青野町長へ提出。

議会からの要望書を青野町長へ提出

令和元年度
決算認定

60項目の意見を付して
全会一致で承認



決算認定特別委員会からの報告

決算認定特別委員会は、前年度で執行された予算が適正なものであったかを確認するため、全ての課が所管する決算について審査を担当しています。

委員長／松田英二 副委員長／左居喜次 ほかに全議員を委員とする13人で審査しています。

来年度に向けて

全体総括意見を付す！

本会議での委員長報告において指摘した特に付しておくべき意見は以下の通りです。

意見

借入れ状況の注視

借金の借入れに制限がかかることにならないよう実質公債費比率の状況を厳重に注視して抑制に努めなければならない。

意見

補助金などの規制緩和

今ある町民への補助金制度については、住民の需要に対して使い易い制度となるように規制の緩和が必要とされている。

意見

民間活力導入事業の精査

指定管理者制度などの民間活力導入事業全般について考え方を協議し、対象事業の精査など総合的な見直しが必要である。

意見

事業評価委員会の設置

新規事業に着手するときは、事前に比較検討を行い、事後に効果を検証する事業評価委員会を設置する事が望ましい。

意見

各計画書の検証

行政運営の指針である第3次振興計画や行財政改革大綱などの評価を毎年行い着実な遂行が図られる体制の構築を望む。

意見

適正な人員確保と配置

高齢化率50%を超える地域を多く抱える町の情勢を考慮した上で、職員の適正な人員確保と人員配置に努めなければならない。

意見

老朽化施設への対処

町内の旧耐震基準で建設された公共施設への対処方法については公共施設等総合管理計画も含めた早急な対応が望まれる。

意見

介護予防の充実・強化

高齢者福祉に関しては地域支援事業における介護予防・重度化防止策の充実・強化を図れる体制づくりを目指すべき。

意見

新型コロナへの対応

新型コロナウイルスの影響は来年度も続くものとして、町民の感染防止策・地域経済活性化策に向けた事業展開が必要。



- 9月定例会：前年度決算を審査・認定

- 議会からの指摘・意見をとりまとめ
- 来年度予算などへの要望書を提出

- 3月定例会：来年度予算案を審査

決算認定特別委員会では、決算状況や事業内容をチェックし、「来年度予算にどう反映させるか」という視点で審査を行いました。

決算審査 私の意見!

一般会計 106億2,879万円(前年度比1.3%増)
 24特別会計 69億1,527万円(前年度比3.4%増)

【※決算額は1万円未満四捨五入】

全議員13人を委員とする令和元年度歳入歳出決算認定特別委員会が設置され、9月9日から4日間にわたり決算の審査を行いました。

今回の審査では、①議会が議決した予算が効果的・効率的に執行されているか②決算における評価を来年度予算編成や役場の運営にどのように反映させるのかという点を中心に審査を行いました。

ここでは各委員から出された60項目の指摘事項のうち主な意見を掲載します。

福祉・教育

主な事業 高齢者福祉、障がい者福祉
 児童福祉、学校教育など

| | |
|-----|------------|
| 民生費 | 29億1,207万円 |
| 教育費 | 11億8,970万円 |

金谷委員



生活弱者への支援充実

民生委員などに協力を求め生活弱者に対するより細やかな支援を求める。

形井委員



予防接種への柔軟な対応

肺炎球菌など予防接種への取り組みは年齢に限定せず柔軟な対応を求める。

山田委員



読書意欲の向上への対応

本好きの児童育成のためブックスタート事業の充実と司書の学校派遣拡大を求める。

安全・安心

主な事業 公共施設管理、防災、国際交流
 情報通信など

| | |
|-----|-----------|
| 総務費 | 18億 141万円 |
| 衛生費 | 9億2,254万円 |

江原委員



実質公債費比率の抑制

大規模なプロジェクトを進める際には実質公債費比率抑制への努力を求める。

貝阿彌委員



公共施設管理の見直し

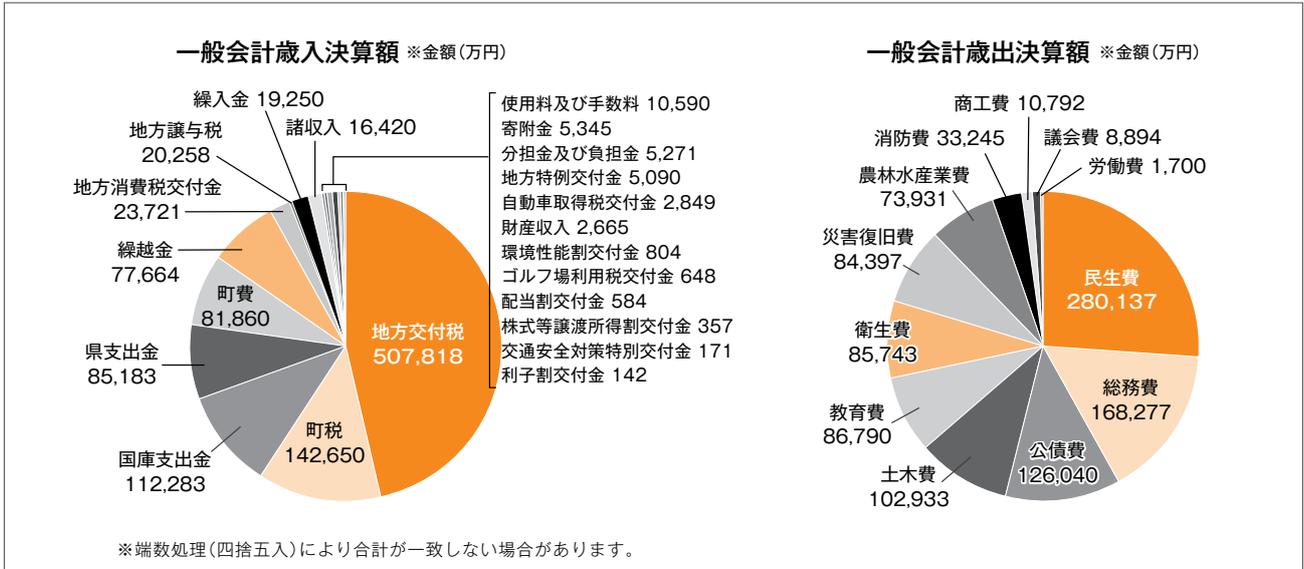
公共施設の管理について指定管理と業務委託の精査を行い見直しを求める。

松島委員



本庁と支所の連携強化

本庁と総合支所の業務の在り方について事務分掌の徹底を求める。



産業・建設

主な事業 農林業振興、道路整備、観光
災害復旧、企業誘致など

| | |
|--------|------------|
| 農林水産業費 | 7億8,049万円 |
| 土木費 | 11億2,825万円 |



各種事務手続きの簡素化
多面的機能交付金などに対する事務の簡素化と支援策への工夫を求める。



要望書への迅速な対応
自治会などからの要望書への対応は迅速かつ適切に行うように求める。



有害鳥獣への対策検討
農産物へ重大な被害を与えている有害鳥獣への有効な対策検討を求める。

特別会計・水道事業会計

主な事業 みさきネット、国民健康保険
介護保険、上・下水道など

| | |
|--------|------------|
| 特別会計事業 | 60億5,971万円 |
| 水道事業 | 8億5,556万円 |



情報通信の将来展望
みさきネットの推進には情報通信事業の将来展望も含めた対応を求める。



介護保険料抑制の検討
介護保険事業計画策定に向けてはバランスを考慮し保険料抑制を求める。



汚水処理水洗化の促進
町内の環境保全に向けて下水道や合併処理浄化槽での水洗化促進を求める。

以上のような審議を経て、美咲町議会は令和元年度歳入・歳出決算認定を**全会一致で承認**しました。

業務委託限度額 1億8千万円

一般会計補正予算など20件の議案が議決されました。

イベント中止で減額補正

新型コロナウイルス感染防止対策のために「たまごまつり」や「ぼっぼまつり」が中止となり、関連予算を減額する。
〔観光費 △550万円〕



自力災害復旧経費補助創設

農地の災害を自力で復旧する場合の経費を補助（上限32万円）する制度を創設する。
〔農地災害復旧費 320万円〕



予防接種にロタウイルス追加

乳幼児下痢症の予防としてロタウイルスワクチンの接種を追加する。
〔予防接種事業費 120万円〕



妊孕性温存治療費を助成

若年がん患者の精子・受精卵を保存する妊孕性温存治療費の一部を助成（上限40万円）する。
〔保健衛生総務費 65万円〕



契約

加美小学校大規模改修工事
加美小学校大規模改修工事（I期工事）の設計変更に伴い契約金額を1,667万6千円（消費税込）増額し2億2,347万6千円（消費税込）に変更する内容で全会一致で承認した。



条例

〔町議会議員・町長の選挙運動の公営を新設〕
美咲町議会議員及び美咲町長の選挙運動の公営に関する条例
公職選挙法の一部が改正されたことに伴い、以後その期日を告示される選挙について、選挙運動用自動車、選挙運動用ポスターなどの選挙費用の一部を公営（公費負担）にする条例を制定する。

9月議会

でこんなことが
決まりました

柵原学園(仮称)建築設計

令和2年8月31日～9月18日まで定例議会が招集され

インフルエンザ予防接種全額助成

65歳以上の高齢者及び60歳から65歳未満で心臓などの障害を有する人のインフルエンザ予防接種の費用を全額助成する。

〔令和2年10月1日から令和3年1月31日まで〕



スマホ収納の開始

町に収める税金や使用料金などの支払い方法に口座振替やコンビニ納付に加えスマートフォンでも支払い(PayPayとLINE Pay)できるシステムを導入する。



GIGAスクール全学年に拡大

小学校5・6年生と中学校1年生を対象としていた情報通信用タブレットの配付を小・中全学年に拡大して整備する。

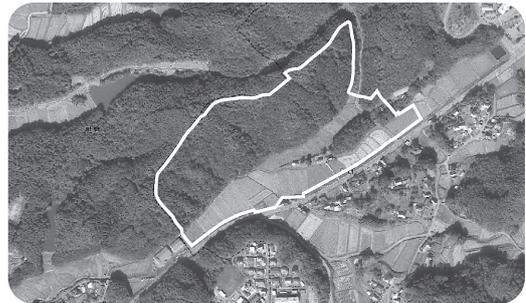
〔学校共通管理費 3,454万円〕



柵原学園建築設計委託費債務負担行為

柵原地域義務教育学校(仮称柵原学園)の建築設計業務委託について令和2～3年度の債務負担行為を承認した。

〔限度額 1億8,000万円〕



要望

林業施策に関する要望書

久米郡森林組合

代表理事組合長 森谷 豊

木材需要の減少や木材価格の極度な低迷などで林業・木材産業の火を消さないために、間伐、搬出間伐促進事業への町費増額の要望があった。
慎重に審議した結果、要望書提出時より木材価格も上昇しているなどの状況を踏まえて、全会一致で**趣旨採択**とした。

議員発議

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

コロナ感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらし、地方税・地方交付税などの一般財源の激減が避けられない事態となっていることから、国において令和3年度地方財政対策および地方税制改正の確実な実現を求める内容の意見書を日本政府に対して送付した。

委員会 の活動

総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、理財課、地域みらい課、くらし安全課、上下水道課、建設課、産業観光課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／松田英二、江原耕司、岩野正則、貝阿彌幸善の6人で審査しています。

【総務課】

議員・町長選挙への公費拡大

問 議会議員と町長の選挙運動に対する公費拡大の内容は。

答 次回の選挙から選挙運動用の自動車の使用料、ポスター・ビラの印刷に対して公費で賄う。

【会計課】

公共料金をスマホで支払い

問 公共料金のスマホ収納とは。

答 町民の利便性向上のため口座振替やコンビニ納付に加えてスマートフォンの決済アプリから「PayPay」「LINEPay」で支払えるようにする。

【地域みらい課】

太陽の広場へ電源設備拡充

問 太陽の広場への電気設備工事はなぜ必要なのか。

答 消防操法訓練場照明設備が新設され、既設のトイレ・防犯灯などへ繋げる電気設備の拡充が必要となったため。



役場本庁舎大会議室

選挙投票所における新型コロナウイルス感染予防対策として、非接触型の「投票用紙自動交付機」が配置されることになり、委員による模擬投票を体験した。

【産業観光課】

猪などの捕獲補助金を増額

問 野猪等捕獲事業補助金を増額する理由は。

答 令和元年度で猪1,564頭、鹿299頭が捕獲され年々増加の一途をたどっている。今年度当初の捕獲予測を上回ったため予算を増額する。

【建設課】

災害の未然防止への対策

問 自然災害防止事業とはどのような内容なのか。

答 道路法面・排水路・河川、農業用施設などの災害の未然防止に向けた対策を行うもの。

【上下水道課】

下水道事業の公営企業会計化

問 下水道事業の公営企業会計化はいつから考えているのか。

答 総務省の通達では令和6年4月までの期限が示されているため準備を進めている。

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民税務課、保険年金課、健康推進課、徴収対策室、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／左居喜次 副委員長／形井 圓 委員／山田雄二、藤井智江、林田 実、金谷高子の6人で審査しています。

【健康推進課】

ロタウイルスワクチン接種

問 新しく定期予防接種になったロタウイルスワクチンとは。

答 乳幼児の下痢症を予防するためのワクチンで、初回の接種は生後6週～14週と6日までに行い2～3回接種する。

【健康推進課】

妊孕性温存治療費助成

問 若年がん患者の妊孕性温存治療助成とは。

答 男性は精子凍結への助成、女性は卵子卵巣組織の採取および凍結と受精卵の凍結への助成で、1件につき上限40万円。

【生涯学習課】

丸山グラウンドのトイレ改修

問 丸山町民グラウンドの利用状況は。

答 少年野球チームが週3回、グラウンドゴルフが週2回、地元行事などで利用している。洋式トイレへの改修を予定している。



旭図書館(西川地内)

本町には町立図書館が3館あり、各館ともイベントや蔵書の配置に工夫を凝らし、利用者増に取り組んでいる。

今後、司書の増員・防犯体制の強化・業務内容の検討を求めた。

【福祉事務所】

長寿祝い金の贈呈

問 長寿祝い金制度の現状は。

答 喜寿(77歳)163人、米寿(88歳)152人、白寿(99歳)18人、百寿(100歳)11人、合計344人にお祝い金を贈呈している。

【住民税務課】

災害廃棄物等に関する基本協定

問 基本協定の内容は。

答 協定の相手方はエコシステム山陽株式会社。町内で水害などの非常災害が起きた場合に発生する災害廃棄物の迅速な処理が目的。

【住民税務課】

安井地区の汚水流出

問 現状はどうなっているか。

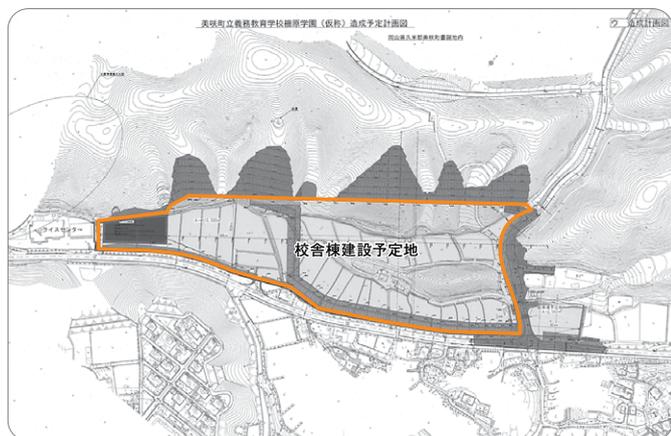
答 改善計画書に基づき設備の改善が進んでいる。今後、浄化処理水の水質改善を図るよう県と町による指導を行っている。

委員会 の活動

柵原地域学校等建設特別委員会からの報告

柵原地域学校等建設特別委員会は、柵原地域に建設する「義務教育学校柵原学園（仮称）」の創設に向けた取組に対する審査を担当しています。

委員長／松田英二 副委員長／山田雄二 委員／藤井智江、形井 圓、延原正憲、左居喜次、林田 実、山本宏治、金谷高子の9人で審査しています。



9月30日に第18回特別委員会を開催し、美咲町柵原地域義務教育学校開校準備委員会で決定された内容について審議した。

校舎や体育館といった学校施設の設計委託に際しては、プロポーザル方式と呼ばれる提案型の設計委託方式を採用することとし、9月24日から公募を行っている。

今後、11月中旬に設計委託業者が選定された段階で特別委員会を開催して提案図面などの確認を行う予定。

議会改革特別委員会からの報告

議会改革特別委員会は、議会の制度がその時々的情勢に適しているかを検証し、議会活性化に向けた議会改革の検討を担当しています。

委員長／岩野正則 副委員長／藤井智江 ほか全議員を委員とする13人で審査しています。



◎住民に信頼される議会を目指して

第12回委員会を8月3日に開催し、平成24年6月に制定された議会基本条例が現況に合っているかどうか順次見直していくことを全員で確認し、制定当時の、「なぜ条文に著したか」がわかる資料を基に検討を行った。

議会の使命は、町民全体の立場に立って政策の決定を行い、行財政運営を含め決定した政策が適正に行われているかを監視することを再度確認した。

この基本条例は地方自治としての議会・議員活動の活

性化と充実のために必要な議会運営の基本を定めることによって「町民が参加する開かれた議会」「自由闊達な討議をする議会」「町民が幸せを実感できる政策を提言する議会」を目的とした取り組みを行い、「ひと 輝くまち みさき」の実現を目指しています。

町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

| ページ | 議員名 | 質問内容 |
|-----|-------|---|
| 12 | 左居 喜次 | 1. インフルエンザワクチンの接種促進を 2. 道路維持管理の根本的な対策を |
| 13 | 延原 正憲 | 1. 美咲DMO設立への取り組みは 2. 町内から老朽危険家屋一掃の覚悟は |
| 14 | 山本 宏治 | 1. ヤングケアラーの実態把握と支援策は 2. 庁舎、行政施設の整理整頓を |
| 15 | 山田 雄二 | 1. 義務教育学校 膝詰めで話をしてはどうか 2. 放流情報の発信を外部スピーカーで |
| 16 | 貝阿彌幸善 | 1. 新町の計画をどう進めていくのか 2. 町の将来像で「賢く収縮」とは |

| ページ | 議員名 | 質問内容 |
|-----|-------|---|
| 17 | 形井 圓 | 1. 農業機械の導入に補助制度はできないか 2. コロナ対策給付金事業の周知方法は ◇ 住民に寄り添った行政運営を |
| 18 | 藤井 智江 | 1. 義務教育学校は地域住民の納得を 2. 旧厚生小学校の跡地活用は ◇ 第8期介護保険計画の進捗状況は ◇ 町長の政治姿勢は町民に寄り添っているか |
| 19 | 金谷 高子 | 1. GIGAスクール構想の取り組みは 2. 心身障害者医療助成制度の改善を ◇ 妊孕性温存治療への対応を |
| 20 | 松田 英二 | 1. 河川氾濫の未然防止に取り組み |
| | 林田 実 | 1. 黄福タクシーの利便性向上を |

議会だよりには、2問まで掲載
しています。
掲載できなかった質問は◇で
表示しています。



左居喜次 議員

質問 インフルエンザワクチンの接種促進を

答弁 必要に応じ町民に伝える

問 新型コロナウイルス感染症の発熱・咳・倦怠感・頭痛・関節痛といった症状は、熱中症やインフルエンザと共通する部分が多い。

今冬にかけて、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの流行期が重なり、新型コロナウイルスに感染していても「見逃してしまふ恐れがある」と専門家からも指摘されている。

インフルエンザワクチンの接種を促進することで、感染リスクを低減することができるのではないか。

答 青野町長

現在、国は新型コロナウイルス感染症拡大の中、インフルエンザワクチンの接種について、重症化の恐れがある高齢者や持病がある人を最優先としている。

小学校低学年までの子どもや妊婦、医療関係者も早めに接種する方針を示し、国民や医療機関に理解を呼び掛けるよう検討している。国・県そして医師会からの情報・指導を基に、必要に応じ早期インフルエンザワクチン接種の推奨など、町民の皆さんにお伝えしたい。

新型コロナとかぜ・インフルエンザとの症状の比較

| 症状 | 新型コロナ | かぜ | インフルエンザ |
|------------|-------|-------|---------|
| 発熱 | 平熱～高熱 | 平熱～微熱 | 高熱 |
| 咳 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 咽頭痛 | ○ | ◎ | ◎ |
| だるさ | ○ | ○ | ◎ |
| 関節痛 筋肉痛 | ○ | × | ◎ |
| 頭痛 | ○ | ◎ | ◎ |
| 鼻水 | △ | ◎ | ○ |

(オーストラリア政府啓発資料より抜粋)
◎：頻度高い、○：よくある、△：ときどきある、×：まれ

質問 道路維持管理の根本的な対策を

答弁 行政と住民で維持管理の形態を作り上げたい



問 町道の維持管理において、草刈りや側溝清掃などを自治会や業者に管理委託しているが、双方において厳しい状況にある。

維持管理が行き届かないために救命救急、防災面においても心配される状況であり、根本的な対策が必要ではないか。

答 青野町長

町としても、「道路維持」を行うための予算を確保し、建設課において業者委託を行いながら維持管理を行っているが、全ての町道を維持管理していくためには業者だけでなく、どう



幅員が4.0mあっても幅1.47mの車がギリギリです。

しても地域の力が必要と考えている。

今後の方針としては、行政と住民の両方で力を合わせ、維持管理を行う形態を作り上げる必要があるのではないか。

答 井上政策推進監

現在、道路法面の伸びた木が道路面に倒れ掛かっており、大雨の際に倒木、落石による町道の通行止めの可能性が高く、集落の孤立に繋がる。

町が対応しようにも、予算措置に限りがある。国への要望の中、伐採の財政措置を要望していきたい。



延原正憲 議員

質問

美咲DMO設立への取り組みは

答弁

小さな町の大きな挑戦で取り組む

問

広報みさき8月号に美咲DMOを

令和3年4月に設立するための検討会を開催したとの記事があった。地域DMOを目指す理由は。

②町内観光資源の整備と充実策は。
③町内観光マップ（案内板）の整備は。
④片上鉄道車両の動態保存への取り組みは。

答 青野町長

①本町の地域経済に好環境を作り出す中心的役割を期待し、小さな町の大きな挑戦と



体験乗車が復活できるといいね

※DMO…観光地域づくり法人。

して取り組んでいく。

②町内には多くの観光資源があり、これらをどのように活用していくのがDMOの課題の一つである。

③町内には案内看板や標柱が各所に設置されているが、調査の上、コスト意識と優先順位を十分考慮して整備に当たる。

④町としても展示運転の再開を望んでいるが、安全で事故がないことが一番大切であり、片上鉄道保存会とも協議を重ねたい。

質問

町内から老朽危険家屋

一掃の覚悟は

答弁

新たな補助制度も研究する

問

町内には老朽化が著しく倒壊などの危険のある老朽危険家屋が増加している。

町は解体撤去の行政執行の制度も定めた。

①町内の老朽危険家屋の実態は。
②所有者などによる除却の実績は。
③行政代執行が実施できない理由は。
④町内から老朽危険家屋を一掃する覚悟は。

答

光嶋地域みらい課長

①周辺への影響が非常に大きい老朽危険家屋は8軒あり、うち6軒について除却などの交渉を行っている。
②平成25年度以降の除却の実績は12軒にとどまっている。

③除却費用の回収が非常に困難となる。

答 青野町長

④現在老朽危険家屋のみを対象とした150万円の解体撤去の補助制度はあるが、将

来道路や隣接地に影響をおよぼす恐れのある空き家の除却費についても、新たな補助制度を研究したい。



早く解体してほしいな



山本宏治 議員

質問 ヤングケアラーの実態把握と支援策は

答弁 念頭に置き適切に対応したい

問 家庭内でケアが必要な人の介助には家族への大きな負担がある。

特に18歳未満の人が家庭環境のため介護、食事の援助などを行っている児童・生徒の実態を把握しているのか。

答 勉強、部活などの時間が減り重荷になり、他人には言えない環境などの実態調査を行った上で支援策が必要ではないか。

答 神坂教育総務課長 学校に通いながら、親や祖父母、幼い兄弟などの世話をしている子どもが、ヤングケアラーと言われ、社会問題にもなっている。家族思いの美談に聞

こえるが、睡眠不足などで不登校や授業に集中できない懸念もある。教育委員会では、この様な問題も校長会などで意見交換をしている。

答 山崎保険年金課長 居宅介護、地域

答 青野町長 教育、学校の現場、あるいは障害の関係など、それぞれの立場で常にそうしたことを念頭に置きながら職務に当たり、適切に対応していきたい。

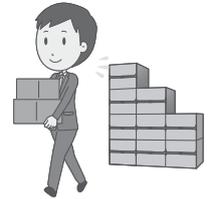
密着型介護など約900人いる。関係各課と連携をとり、国・県の動向を注視しながら研究を進める。



子どもの生活に目くばりを

質問 庁舎、行政施設の整理整頓を

答弁 備品の整理に計画的に取り組む



重要書類はこの中に (美咲町総合備品庫)

問 本庁、各総合支所には永久保存の重要書類や各種の保存書類が多くあるように思われる。

答 旭総合支所にもたくさんさんの書類が置かれており、各施設の整理が必要と思うが今後の予定は。

また本庁・柵原総合支所の状況はどうか。

答 稲谷総務課長 本庁舎建築後46年経過、旭総合支所は42年経過している。

柵原総合支所については、平成24年に柵原

合併15年になる。総合文化センターに総合支所機能を移管した時に備品整理を済ませている。

旭総合支所については、耐震補強工事が出ていないなど、さまざまな課題を抱えており、喫緊の重要な課題となっている。

あさひみらいデザイン検討委員会から、旭総合支所などの在り方について報告書が提出されている。

文書や備品などの整理についてはオークションの考えも視野に計画的に取り組む。

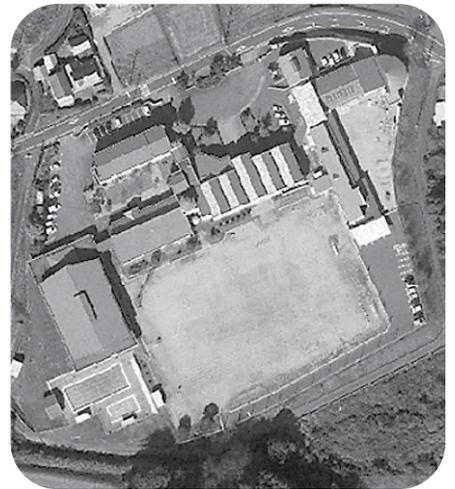


山田雄二 議員

質問

義務教育学校 膝詰めで話をしてはどうか

答弁 意見を聞く必要があるときには聞く



思い出を胸に新たな学校づくりへ

問 義務教育学校について3点質問する。

①本年6月定例会では学年の区切りについて「6・3制」という形ではなく、義務教育学校でしかできないことをぶれずに進めたい」と答弁したが、パブリックコメントの回答では「学年の区切りは開校準備委員会で決める」となっている。どちらが本当か。
②義務教育学校の創設は行政主導で進められてきた。そのため、地域住民への説明がおろそかになってはいないか。
③学校形態と場所が決

まった。地元のいろいろな声を聞くため膝詰めで話をしてはどうか。

答 黒瀬教育長

①表現は違っているかもしれないが、趣旨は同じで、開校準備委員会が決める。
②学校の統廃合ではいろいろな思いがある中、今は新しい学校づくりに向けて前進することが大切と考える。
③行政が決定すべきことは決定する、意見を聞く必要があるときには聞く。
決定するタイミングを考えて決断することが建設を前に進めることだと考えている。

質問

放流情報の発信を 外部スピーカーで

答弁

緊急時には積極的に使っていく

問 苦田ダムの放流について内容と実績を問う。

答 浦上くらし安全課長

苦田ダムの放流には、緊急放流・事前放流・洪水調節の3種類がある。

問 苦田ダムの放流内容を示せ。

答 浦上くらし安全課長

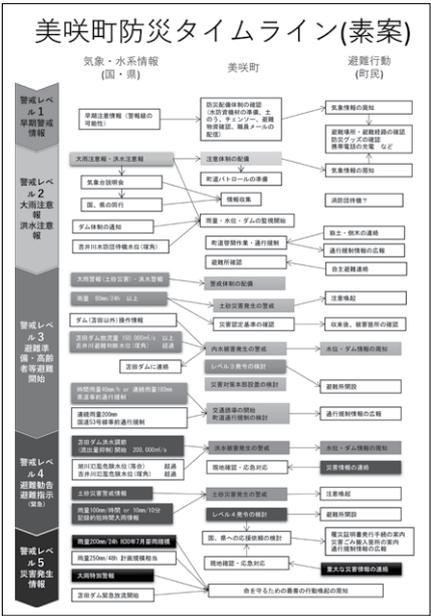
また、洪水調節による放流があるとき、告知放送だけでなく外部スピーカーを使った緊急放送ができないか。

またものをタイムラインと呼んでいる。現在、本町にふさわしい水害タイムラインを策定中である。

答 浦上くらし安全課長

役場や消防など緊急時においては、外部スピーカーの利用も積極的に行っていく。

問 最近話題の水害タイムラインの内





貝阿彌幸善 議員

質問 新町の計画をどう進めていくのか

答弁 小規模多機能自治の実現を目指す

問

新町建設計画では、地方分権推進と厳しい財政状況への対応、少子高齢化への対応、多様化高度化する住民ニーズへの対応、個性を生かした地域づくりへの対応がうたわれ15年が経過したが、町長は計画の成果をどう捉えているか。

また、今後どのように進めていくのか。

答

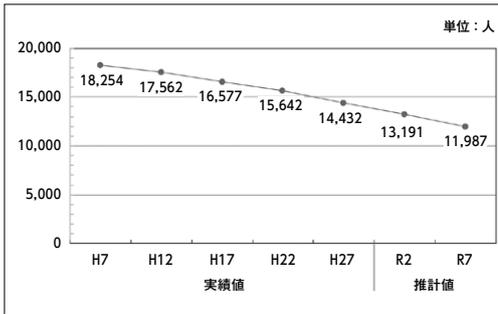
青野町長 少子高齢化・過疎化・人口減少に伴う労働力の減少、地域経済の縮小、税収の減少、社会保障費の増大と経済面の影響のみならず社会面においても、地

域の担い手不足による地域コミュニティの低下、子ども同士の交流機会の減少、子育て介護機能の低下、負のスパイラルとなり地域力に大きな影響を及ぼしている。

住民ニーズの多様化、高度化が進んでいる。中でも、保健医療福祉については、より生活に密着したニーズが増加するものと考えられる。

住民同士の絆を深め地域のことは地域自ら決定できる、協働のまちづくりから一歩踏み込んだ小規模多機能自治を目指す。

美咲町総人口の見通し

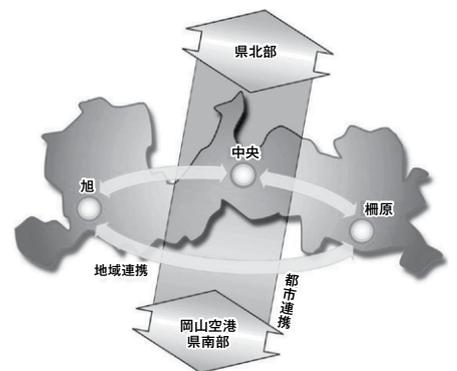


質問 町の将来像で「賢く収縮」とは

答弁 新しいまちづくりへの転換を図る



新町のイメージ図



問

町の将来像で、事業の選択と集中を進め「賢く収縮」とは抽象的であり、具体的な取り組みを示せ。

答

青野町長 人口維持、歳入維持を前提としたこれまでのまちづくりから、人口減少、歳入縮小時代を見据えた、新しいまちづくりへの転換を図ることである。

多様化・高度化する行政課題を的確に把握し、限られた資源や人材で効率的な行政運営を行うことが不可欠である。

役場組織の機構改革、人事制度改革、組織の活性化、事務事業の効

率化、審議会・委員会等の再編など、機構の構築と併せて、職員の意識改革と定数などの適正化を図る。

財政運営については、経常的経費の抑制、公共投資の重点化とコスト削減、補助金の見直し、町税などの歳入確保と負担の適正化、遊休財産の適正管理、予算編成方法の見直しなどを進め、持続可能な財政基盤の確立を目指す。

あわせて、公共施設等総合管理計画に基づき管理運営の在り方効率と経常的な視点により、最適な手法の選択を図る。



形井 圓 議員

質問 農業機械の導入に補助制度はできないか

答弁 政策調整会議などで検討している



農業機械は高額だ!

問 農業従事者の高齢化に伴い、後継者もなく農地の荒廃化が進む中で、町の農業政策を具体的に示されたい。

答 併せて、地域の高齢者の農地を借り受けている人もいるが、こうした人が美咲町の農地を守っているのではないか。

問 農業従事者の高齢化に伴い、後継者もなく農地の荒廃化が進む中で、町の農業政策を具体的に示されたい。

答 厳しい経営環境ではあるが、貸手・借手の立場で研究を行う必要がある。

問 規模拡大を目指す認定農業者や地域の中心的経営体への補助制度については、今後研究していく。

答 規模拡大を目指す認定農業者や地域の中心的経営体への補助制度については、今後研究していく。

問 農地を借り受ければ面積も増え、農機具の大型化も必要となる。農業機械の導入に補助制度はできないか。

答 立石産業観光課長 高年齢による担い手不足、後継者不足、農業離れなどに起因する耕作放棄地の増加など、共通の悩みである。農業機械の補助については、政策調整会議などで検討している。

問 農機具の補助については、政策調整会議などで検討している。

答 中山間地域においては、農地を借り受けている人への支援ができないかと考えており、中国四国農政局、国会議員に要望している。

質問

コロナ対策

給付金事業の周知方法は

答弁

広報紙および町のホームページに掲載

問

美咲町事業継続支援助成金、高校生・大学生への支援金などが7月の臨時議会において議決されたが、

人事業主の支援のため、事業継続支援助成金交付事業として、10万円交付する。

県内に在学している高校生の情報などを確認し給付漏れのないよう工夫していく。



町の情報は告知放送などでお知らせしています



藤井智江 議員

質問 義務教育学校は地域住民の納得を

答弁 住民代表の専門部会で協議している



地域づくりの拠点に

問

柵原地域に建設予定の義務教育学校は、地域住民の納得を得て進めているか。
①地域住民への説明は十分行われ、住民の意見は反映されているのか。
②パブリックコメントには何人がコメントし、どのような意見が出され、どのように反映したのか。
③プールは設置されないのか。
④20人学級についてどういう見解か。
⑤「6年生問題」についてどう対応するのか。

答

黒瀬教育長
①地域住民の代表である専門部会で鋭意、

精神的に協議している。②約20人から約80件の「地域と学校の連携が必要」「教育課程の4・3・2の根拠が示されていない」などコメントがあった。
③プールは、開校準備委員会などで検討される。

問

今後、定期的な報告と説明と意見交換会が持てないのか。

答

黒瀬教育長
16人の委員が地域の意見を集約し持ちこたえて来る。誠実に受け止め協議を進める。

④国の学級編成標準法に基づいて編成する。⑤どの学年でも問題はあると認識している。

質問 旧厚生小学校の跡地活用は

答弁 図書館協議会などで協議を深める



問

特別養護老人ホーム白寿荘から旧厚生小学校跡地、グラウンドおよび中央公民館、中央図書館、調理室などを譲渡してほしいと言つ要望が町長に提出され、4地域で意見交換会が行われた。

答

平賀生涯学習課長
教育委員会が中

①4地域の意見交換会の内容をまとめて報告するということ教育長との約束が守られていないのではないか。
②意見交換会後に進展はあったか。
③今後、どのような方針でどのように進めるのか。



望まれる跡地活用を

央地域4会場で開催した旧厚生小学校跡地利用意見交換会は、住民からの意見を聞くために開催したもので、中央公民館、中央図書館譲渡についての意見交換会ではないことを申し添える。

①意見をまとめた報告が遅れていることはお詫びする。
②すぐに結論を出すものではなく地域住民の意見を聞いて今後の参考にする。今のところ進展はない。
③教育委員会として、町の社会教育委員会や図書館協議会などで議論を深めていく。



金谷高子 議員

質問 GIGAスクール構想の取り組みは

答弁 接続環境を考慮し 比較検討を行っている



勉強するぞ～

問

国のGIGAスクール構想は、児童・生徒が一人一台のパソコンやタブレット端末を持ち、クラス全員が一度にアクセスできる通信環境を整備することである。

今年度は、モバイルルーターを家庭に貸出し、オンライン授業を支援する施策もある。本町はどう取り組むのか。

答

神坂教育総務課長 全小・中学校の家庭のインターネット接続環境のアンケートを行い、回答があった671世帯のうち、接続ができない家庭が6世帯という結果を得て

問

モバイルルーターがいいのか、インターネットへの加入を進めるのが適切なのか、現在比較検討を行っている。

子どもたちの中には、学校には行けるけれど、教室には入れない子どももいる。また、視覚や聴覚が不自由な子どもへの対応は。

答

神坂教育総務課長 タブレットを貸し出すことにより、学校に行かなくても済む環境をつくってしまいう懸念があり、個々のケースに丁寧に対応し問題解決していく。

質問

心身障害者

医療助成制度の改善を

答弁

来年度実施に向け検討する

問

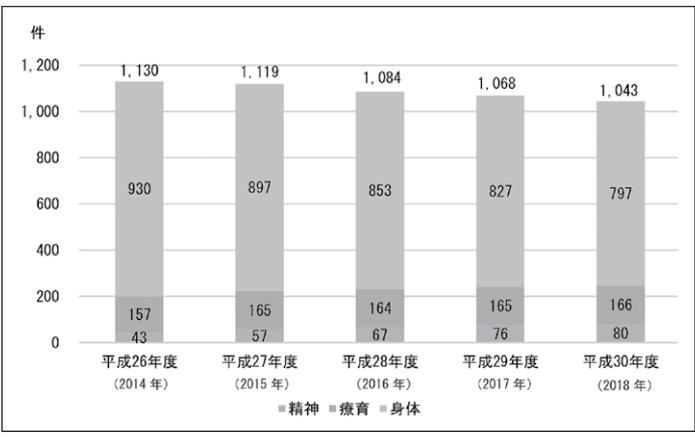
現在の制度では、身体障害者、知的障害者は内科、外科など診療費は1割負担だが、精神障害者は基本的に3割の自己負担である。

答

青野町長 精神障害者の1割負担については、以前より金谷議員から問題提起をいただいております。前向きに検討してまいりました。

今年度中に、心身障害者医療費給付制度の改正について、対象者など具体的な制度設計を詰め、来年度から実施に向けて検討する。

障害者手帳交付数





松田英二 議員

質問 河川氾濫の未然防止に取り組み

答弁 個別計画を策定して対応する

問 災害によって発生する河川氾濫の未然防止策は重要施策として捉えなければならぬ。

しかし、本町の河川改修予算は年々減額され、地元要望にも対応できていない状況がある。

岡山県では「河道内整備実施計画」を策定して主な河川の浚渫工事や樹木伐採を行っている。

本町の河川整備はどのように対応しているのか。

答 前田建設課長

ここ数年は災害復旧事業で河川浚渫などを実施しているため河川改修の予算を減額した。

町が管理している普通河川の総延長は莫大なものとなり、全ての維持管理は非常に困難であることから特に重要な区間について事業発生の都度対応している。

問 総務省では今年度から「緊急浚渫推進事業」を創設して河川整備に対する起債枠を設けている。これを利用して町内の河川氾濫未然防止策に取り組む考えは。

答 青野町長

国・県の制度を利用して河川ごとの個別計画を策定して、河川浚渫や堆積土砂の撤去など河川氾濫の未然防止に努めていく。

緊急浚渫推進事業の創設（総務省）

| | |
|------|--------------------|
| 対象事業 | 緊急的に実施する河川等の浚渫工事 |
| 事業年度 | 令和2年度～令和6年度（5年間） |
| 財政措置 | 元利償還金に対する交付税措置 70% |
| 事業費 | 5年間の見込み総額 4,900億円 |
| 必要措置 | 河川維持管理計画の策定が必要 |

質問 黄福タクシーの利便性向上を

答弁 関係各課と検討し 移動の確保に努めたい



林田 実 議員

問 黄福タクシーについて町民から、きめ細やかなサービス展開を望む声がある。

さらなる利便性の向上に向けて制度を検証する必要があると思われる。

中でも、町内で受診できない人工透析者が黄福タクシーを利用して津山市、真庭市などに通院した場合、月額約7万円の通院費と交通費となる。料金設定も含め今後の課題と展望は。

答 浦上くらし安全課長
特定疾患の人も含めた町外の病院への移動手段を関係各課と

検討しながら、高齢者などの移動手段の確保に努めたい。

問 黄福タクシー同様に、特定疾患通院補助金についても検証が必要ではないか。

答 牧野福祉事務所長
個々の通院方法が異なるため検討が必要。関係各課と協議検討を行いたい。

問 透析患者の現状が把握できたと思うが、町長の考えはどうか。

答 青野町長
関係の所属が検討した結果を踏まえ判断をしたい。



義務教育学校先進地に学ぶ 高知市立土佐山学舎

講師：高知市教育委員会 教育環境支援課 和田広信副参事
高知市立義務教育学校土佐山学舎 竹崎優子校長

美咲町教育委員会で、柵原地域義務教育学校の令和6年4月開校に向けて、令和2年8月22日(土)に美咲町柵原総合文化センター大ホールにおいて、先進地である高知市から、高知市教育委員会、学校教育環境支援課、和田広信副参事、高知市立義務教育学校土佐山学舎、竹崎優子校長の二人を講師に迎え、講演会が行われた。

美咲町議会からは、議長をはじめ議員多数が参加し、義務教育学校の特性を生かした特色ある教育や学校運営について耳を傾けた。

【社会学一体教育】
土佐山学舎は、高知県北部の中山間地域に位置しており、「社会学一体教育に根ざして」9年間の義務教育を一つの学校、一つの組織としての意識改革を進め、教育に取り組んでいる。土佐山学舎のコンセプトは、

①学校が、地域活性化の中核・後押しに！
②中山間地域の教育モデルとして！
③校区という概念を変えろ！あえて中山間に子どもたちを！
④学びの流れ・教育課程の弾力運用 魅力ある学校！
⑤利益の双方向性！地域とともに！

「選ばれる学校・土佐山で学びたい」としての意識改革を示している。

【学年区分・教育目標】
児童・生徒数は、開校前には、57人だったが現在(令和2年度)は141人になっている。その内、校区外通学者が72名、校区内が69名で増加の傾向にある。

学年区分は、小学校入学から中学校卒業までの9年間を、4・3・2(前期・中期・後期ブロック)の区分がなされ、積極的に地域社会に貢献しようとする態度を育てる土佐山学(総合

的な学習の時間)は、「ふるさとに誇りをもち、将来をたくましく、豊かに、勇気をもって生き抜く児童生徒育成」を教育目標に進められている。

【英語教育】
また、グローバルな視野と豊かな表現力の育成を目的に進められている英語教育では、1年生から英語検定に挑戦し、9年生では高校卒業程度の英語力が求められる英検2級に合格する生徒もおり、3学期に行われる土佐山学発表会では、全ての学年で原稿を持たないやりとり。さらに、高学年では英語だけのやりとりも行われるなど、鍛えられた即興性、コミュニケーション能力の高さには、目を張るものがある。

【柵原学園(仮称)へ】
「学び・つながり・夢を育む 美咲の人づくり」を基本目標とする柵原学園(仮称)の開校準備委員会では、現在、専門部会により各種検討が進められている。地域に根付き、信頼される学校となることを望み、卒業していく子どもたちの社会での活躍を期待するものである。



社会学一体教育に根ざす土佐山学舎の挑戦に耳を傾ける。

議会費あれこれ

◎ どれくらいお金がかかっているの？

▲ 議会運営にはこのくらいかかっています。

| 項目 | 金額 |
|-------------------|----------------------------------|
| 議員人件費 | 5,027万634円 |
| 一般職員人件費 | 1,169万3,614円 |
| 経常管理費 | 511万3,506円 (議長交際費15万8,100円含む) |
| 各種負担金 (退職議員の年金など) | 2,186万7,048円 |
| 合計 | 8,894万4,802円 |

◎ 報酬ってどれくらい？

▲ 月額報酬は次のとおりです。

| | |
|-------|-----------|
| 議長 | 31万5,000円 |
| 副議長 | 26万2,000円 |
| 常任委員長 | 24万6,000円 |
| 議員 | 24万円 |

◎ 何日くらい活動しているの？

▲ 年間の活動日数です。

| | |
|----------------------|----------------------|
| 議長 | 243日 (町外・県外を含む) |
| 副議長 | 122日 (町外・県外を含む) |
| 議員 (議長・副議長を除く11人) | 平均120日 (町外・県外を含む) |

各議員によって異なりますが、表記の数字に各地域行事への参加日数が加算されることになります。

※表記の報酬に加えて期末手当を6月に1.45ヶ月分と12月に1.65ヶ月分支給しています。

※議会だより編集委員6人には年額4万円(委員長は5万円)を支給しています。

※議会選出の監査委員1人には、出頭日数×7,400円を支給しています。

◆他の市町村議会が支給している政務活動費・委員会手当などは支給していません。

議会だよりアンケート

「議会にひとこと」のまとめ

美咲町議会では、コロナウイルス感染症対策のため今年の議会報告会及び意見交換会を中止とさせていただきます。その代替策として議会だよりアンケートをお願いしていましたが、お応えをいただいたご意見をまとめてみました。貴重なご意見ありがとうございました。



今回の議会だよりで最も関心の高かった記事は何ですか

- 定例会の報告 …… 3人
- 委員会の報告 …… 2人
- 議員の一般質問 …… 12人
- その他 …… 0人
- 無回答 …… 1人

今後の議会だよりで取り上げてほしい事柄は何ですか

- 女性の意見 …… 4人
- 若者の意見 …… 4人
- 高齢者の意見 …… 6人
- 小地域の意見 …… 10人
- 各種団体の意見 …… 2人

美咲町議会に対するご意見（抜粋）

- 議会と執行部は両輪ではあるが距離感と緊張感を持つ意識を忘れてはならない。
- これからは行政頼みではダメだ。地域としての今後の在り方を議会はどう考えるのか。
- 個人攻撃では無く建設的な意見が最も必要である。
- 活力ある町政、夢が持てる町づくりに努めてもらいたい。
- 議員定数削減の検討が必要である。
- 町民のために大きな使命感を感じ取れる。

表紙の紹介

今日は旭保育園の運動会です。0歳児～5歳児の43人の子どもたちが走って踊って思い出に残る運動会になりました。



美咲町図書館協議会の視察研修

10月2日、図書館協議会が玉野市・高梁市の図書館視察研修を実施し議員も参加した。各図書館は公民館、カフェの併設によって利用者が増加し、賑わいを創出する場所となっている。



ゆとりある配架が読書への興味と、選択の喜びをもたらす。

令和2年12月定例会の予定

- 令和2年12月に予定されている美咲町議会定例会は
- ◆ 11月30日(月)開会～12月11日(金)閉会の12日間
 - ◆ 一般質問は12月1日(火)～2日(水)の2日間
- (なお、日程が変更される場合にはみさきテレビなどでお知らせしていきます)



町民の皆さんこんにちは

サークル紹介
第35回

和の生地が彩る華やかさ



柵原布細工の会

●いつ頃から活動していますか●

平成28年から柵原文化協会に入り「布細工の会」の名称で活動しています。

●どんな活動をしていますか●

「お雛様のつるし飾り」を中心とした作品づくりを毎月第1・第3水曜日の午後1時～4時まで柵原文化センターで行っています。

●メンバー構成は●

60歳代～80歳代の女性18人で活動しています。

●活動を始めたきっかけは●

柵原文化協会の禾本会長から教室を開いてくれないかというお誘いを受けて始めました。

●楽しいことは何ですか●

会員同士とても仲が良く明るい人たちとの会話も弾み、作品作りに一層の熱が入ります。

●これからの活動は●

毎年、柵原文化祭にメンバー全員の作品を展示しています。とっても華やかですよ。

●議会に一言お願いします●

「若い人の結婚」「美咲町への定住」「空き家対策」など頑張ってください。

皆さんの華やかな作品で

町に安らぎを広めてください。

編集
後記

第21回国勢調査が行われました。

この調査は大正9年に第1回目を実施されて以来5年に一度行われる統計調査で、今回が百年目の節目を迎えたそうです。日本に住む人や世帯を調査することで私たちの生活に欠かせないさまざまな施策に役立てる大切な調査です。

調査による本町の人口は、平成22年調査で平成17年に比べて935人の減少でしたが、平成27年調査では平成22年に比べて1,210人の減少となっています。

今回の調査結果を基に町の政策を示して行かなければなりません。

(松田記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 藤井 智江

山田 雄二

延原 正憲

左居 喜次

岩野 正則